



ふるえがお



古江小 HP QR コード



令和7年6月19日

松江市立古江小学校学校だより（文責 校長：青山 巧）

地域の人に支えられて ～ 学校内外でお世話になっています ～

今月も地域の方に支えながら学習をしています。低学年の交通安全教室指導、本の貸出ボランティア、読み語りボランティア、5年裁縫ボランティア、3年：町探検訪問先（道栄寺、公民館等）での受入など、こどもたちの学習環境の充実のために自らの時間をさいてかかわっていただいていることにただただ感謝です。登下校時も、雨の中、強い日差しの中など、どんなに天気が悪くても毎日立っていただき、こどもたちに声かけをしてくださっています。この環境が決して当たり前ではないことを教職員は受け止め、我々がやるべきことに精いっぱい努めます。



夏休みこども公民館

小学生企画に向けてスタート！

昨年度から始まった夏休みこども公民館：小学生自主企画に向けて、12日からプロジェクトチームが動き始めました。

サポートしているのは校長で、ミーティングは休み時間の集まりたい時という設定です。学校教育活動ではどうしても制限をかけなければならないことが生じますが、地域での活動では可能な限りこどもの願いを実現するものになるよう支援をしていく考えです。もちろん全ての提案を鵜呑みにするのではなく、実現するために何が必要で、誰に働きかければいいのか、どれくらいの人に参加してもらいたくて、そのためにはどう周知すればいいのかなど、企画をしっかり練ること、自分たちで交渉することを前提としています。

昨年度は11名のこどもたちが企画・準備・運営に携わってくれましたが、今年は3名からのスタートです。やりたいことを実現するには周りを巻き込んでいくことも大事と言うことは1回目の作戦会議で話をしています。これから1か月の準備期間で、「進んで 楽しむ 自分も友達も」がどのように展開をしていくのかとても楽しみです。

「校長先生もがんばって！」

校長室にいる時は、できるだけ入口の扉と廊下と校長室の窓を開けています。

それは、自然の風を通すことで、室温を下げてエアコンを使わないようにすることと、体育館への行き帰りをすることもたちの顔を見ることを心掛けているためです。

先日、掃除終わりに教室に戻る2年生と言葉のやり取りをした後、「今から勉強がんばってね。」と声を掛けると、「校長先生もお仕事がんばって！」と返してくれました。そんな返しがあるとは予想をしていなかったもので、びっくりすると共に心がほっこりし、午後の仕事への意欲がいつもよりも高まりました。時には、急いで体育館に行きたいこどもたちに「誰が走っている！」と声を掛けることもあります。授業にも遊びにも前向きである姿を心のどこかで喜んでいるのですが、けがにつながる行為であることを知ってもらうためには仕方ないことと思わざるを得ない今日この頃です。

エアコンの使用を控えているのは、6年生の「世界には暑くてもエアコンなんか使えない人もいます。簡単に使わないでください。ユニセフです。」と諭されたからでもあります。

今年度の宿泊研修は、サン・レイクが改修工事のため使用できず、三瓶青少年交流の家に出かけました。初めて行く子も多く、施設の広さに大はしゃぎだったようです。

天候にも恵まれ、予定していたSAP（仲間づくりプログラム）、オリエンテーション、キャンプファイヤー、野外炊飯などの研修を順調に行うことができました。中には初めて家族と離れて宿泊した子もいて、貴重な体験となったようです。この研修を通して、古江小学校の次期リーダーとしての資質を高めてくれていると信じています。

